

社会福祉法人京都梅花園

平成28年度事業計画書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

1. 総括報告

前理事長の急逝から早1年、未熟ながらも大きな問題もなく法人運営を行うことができ
おりますのは役員の皆様をはじめとする関係者の方々のご支援の賜物だとあらためて思う
次第です。本当にいつもありがとうございます。

当法人の収支の状況ですが、24年度まで受けていた経営安定化事業加算（激変緩和）終了
後、自立支援費収入減少による収支のマイナスが続いており、利用定員の充足による収支
改善を期待した27年度もそこから抜け出すことは困難な状況です。ただ、マイナス額は年々
確実に減少しており、積立預金を取り崩す必要はない見込みです。

利用者の状況ですが、定員60名に対し2月1日時点で56名とおよ93%の充足となって
おります。4月には支援学校卒業生の新規利用も見込まれるため、定員充足が期待できる見
通しとなりました。

就労継続A型の利用者は4→8名となり、職員の残業等の負担軽減と作業効率向上の両面で
今後も活躍を期待したいところです。

上記を踏まえ、当初予算額は資金収支差額を0に設定することとしました。

福祉施策の動向についてですが、現在厚生労働省におきまして「社会福祉法人の在り方等
に関する検討会」が引き続き議論されており、平成28年4月からは「独立行政法人福祉医
療機構の社会福祉施設職員退職共済補助金撤廃」が行われることになりました。これは社
会福祉法人とそれ以外の民間事業者とのイコールフットィング（条件の均等化）を目的と
したもので、結果として退職共済掛金負担が一気に3倍になってしまいます。当法人の負
担増額は約150万円です。このような社会福祉法人に対する厳しい制度改革が今後も予想
されるため、対応に向けた協議を皆様のご意見もいただきながら進めてまいりたいと思
います。

2. 作業

作業関係の予算は以下のとおりとなっています。(前年度予算は補正額)

作業名	本年度予算	前年度予算	昨年比	負担工賃	負担比率
印刷	47,000,000	50,000,000	94%	12,354,600	59%
製袋	18,000,000	17,000,000	105%	6,282,000	30%
縫製	500,000	500,000	100%	209,400	1%
リネン他	10,000,000	9,000,000	111%	2,094,000	10%

支給工賃は昨年当初比 200 万円の増額となっています。

3. 施設運営・管理

利用者の自立支援のため外部活動に積極的に取り組みます。消防訓練・避難訓練は例年のとおり消防署の指導を得て行います。

消防防火設備、電気設備、地下水・浄化設備の点検は、例年のとおり専門業者に委託して万全を期すこととします。

利用者の獲得のため支援学校や行政との連携を前年同様密にすることとします。

4. 職員の処遇、研修

社会保険労務士に委託して労働基準法を順守し職員の処遇は万全を期すこととします。

生活習慣病の検診は例年どおり実施します。職員の外部研修は、可能なかぎり参加できるよう計らいます。

5. 法人運営

役員の方のご指導・ご教示により健全・確実な運営を目指します。